



14歳の春、自らの将来を考える！

校長 田山 満則

2月3日(金)の参観日に、2年生が「立志の会」を行いました。

夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度などを育むキャリア教育の一環として多くの学校で実施されています。

本校では、将来の自分について、したためた作文を各自が堂々と発表して、志を新たにしました。

また、ハンドベルによる「オーバー・ザ・レインボー」の演奏を全員で披露し、厳かな雰囲気の中に華を添えました。

錦千守会から図書贈呈があり、副会長の〇〇 〇様から代表生徒に手渡されました。

〇〇様からは、「立派な態度で臨む2年生の姿に、感動して涙が出ました。」と感激のお言葉をいただきました。

これまでの14年間を振り返り、将来の自分と向き合うよい機会となりました。



【2年生と担任の〇〇教諭】



【立志作文発表の様子】



【〇〇様からの図書の贈呈】

中学生からの提言！ 錦・美川のこれから

上記の2年生と同じ時間に、1年生は「ふるさと学習」のまとめの発表を行いました。

これまで、KRY 山口放送様のご支援もあり、生徒が生まれる前の過去の映像から地域を学ぶことで、地元への興味関心が高まり、地域の取材を重ねてきました。取材中に、地域の方から、「若い中学生の皆さんは、どのように考えますか？」という質問を受け、学習の成果を「提言」としてまとめ、発表した後に参加して下さった地域の方と協議をしました。

2月7日(火)夕方放送の KRY 「熱血テレビ」で、学習発表の様子を紹介していただきました。

引き続き地域学習の推進を図り、地域を愛する子供を育ててまいります。



充実！ 2月の月頭集会

2月1日の午後、恒例の月頭集会を行いました。

今回は、生徒会執行部からスローガンポスターの披露とデザインに込められた思いについて、副会長の近藤君から説明がありました。

現在、スローガンを掲載した横断幕も制作中で、今から出来上がりが楽しみです。

また、各専門委員会で決定した月目標と各学年の方策について、各委員長が発表しました。新委員長になり、2回目の大役でしたが、あらかじめ準備している原稿を胸元にひそめたまま全校生徒に語り掛けるように話す姿に努力と成長を感じました。これから、「努力の虹」が、どんどん大きくなり、錦中ならではの色で美しく彩られていくものと確信しました。



【説明する副会長の近藤君】



【学級委員長の〇〇君】



【図書委員長の〇〇さん】



【環境美化委員長の〇〇君】



【健康安全委員長の〇〇君】



【生徒会長の〇〇君】

【先生の講話】

毎月恒例の「今月の先生からのお話」は、栄養士の〇〇先生が担当しました。

〇〇栄養士は、郷土料理、他国の料理、季節の料理など、工夫を凝らしたワクワクする献立を考え、調理員の皆さんと共に、おいしい給食を作っています。

そんな〇〇栄養士の「アフター5」の活動は、ハンドボールを通じた少年指導です。柱野小学校の体育館を拠点として、市内各校の小学生70人が集い、一緒に汗を流しています。

全国大会に出場するなど実績を残していますが、その活動の目的は「人づくり」です。様々な個性がある小学生が失敗を繰り返しながらも、チームから大切にされ、自己有用感を得ることができるよう支援する。社会人となってもハンドボールを続け、選手や指導者になる教え子もいるそうです。

単なる技術指導ではなく、社会貢献活動としてのハンドボール指導についてのお話には、全校生徒は、興味津々で聞き入っていました。

多様な考えや生き方を多く
の大人から話を聞き、自分の
生き方の糧とすることは、生徒の
成長にとって、とても重要です。

今月の月頭集会も充実した
内容となりました。

